

令和3年7月14日
令和3年9月5日修正
令和3年12月15日修正
令和3年12月30日修正
(公財) 日本スケート連盟

2021/2022 ショートトラック国際競技会派遣選手選考基準

一部の国際大会の開催場所や日本の出場枠など、関連したルールの詳細は、国際スケート連盟 (ISU) によって後日通知される予定である。これを受けて、本選考基準のうち ISU から通知される内容に適合しない部分は変更される場合がある。

【決定の方法】

国際競技会への派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

【派遣選手団の編成方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 日本代表として十分な活躍が期待できる種目を優先的に選考する。
3. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

【出場に関する制限】

国際スケート連盟 (ISU) によって以下の通り制限される。

- ・ 各国際競技会への日本の出場可能人数
- ・ ISU による参加標準記録
- ・ 世界ショートトラック選手権大会のリレー出場枠

【選考用ランキング】

下記選考基準の各対象競技会における 500m、1000m、1500m の結果に従い、下記のとおり 5 種類のランキングを作成し、選考に用いる。

ランキング A 500m の全ラウンドにおけるベストタイムの順位と 1000m の距離別順位に、それぞれ本選考基準に添付するショートトラック派遣選考用順位ポイント表に従い、男女別出場者全員にポイントを与え、その 500m と 1000m の合算ポイントをもって順位を付する。

ランキング B 500m と 1500m で距離別順位の良い方にショートトラック派遣選考用順位ポイント表に従いポイントを与え、そのポイントで順位を付する。

ランキング C ランキング A と B の合算ポイントをもって順位を付する。

【特記事項】

- ・ ISU の参加要項等に変更があった場合は、それに準じて選考方法等を再検討し変更する場合がある。
- ・ 個人及びチーム種目へのエントリーは、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチが、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えながら、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考する（世界ジュニアショートトラック選

手権を除く)。

- ・ 対象競技会における個人種目の順位を用いて選考における優先順位を決める際、本選考基準に従って最終的に優先順位が決しない場合は、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチ (世界ジュニアショートトラック選手権大会の場合はジュニア強化責任者) の協議により、選考方針を踏まえた総合的な検討によって優先順位を決定する。
- ・ 本選考基準において、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチ (またはジュニア強化責任者) の協議による選考を定めている場合において意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。また、ここでの選考は、強化部委員会の出席者 (選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く) の 3 分の 2 以上の多数をもって変更することができる。
- ・ 代表選手の決定後、ケガや病気などによって大会への参加が困難だと判断された場合は、選考委員会又は理事会で補欠登録をされた選手と入れ替える場合がある。その場合、強化スタッフに登録されたスポーツドクターの診断・見解を参考に検討する。
- ・ 選考対象者が、新型コロナウイルス (COVID-19) による影響 (感染や偽陽性判定、濃厚接触者認定、熱発による感染疑い、国際的な移動に伴う規制等による隔離や行動制限) により、本選考基準による適正な選考が著しく妨げられたと認められた場合は、強化部委員会の協議によって、下記選考基準の関連する部分に変更される場合がある。

1. ワールドカップ第 1 戦～第 4 戦

【開催場所、期間】

第 1 戦：中国 (北京)、2021 年 10 月 21～24 日

第 2 戦：日本 (名古屋)、2021 年 10 月 28～31 日

第 3 戦：ハンガリー (デブレツェン)、2021 年 11 月 18～21 日

第 4 戦：オランダ (ドルドレヒト)、2021 年 11 月 25～28 日

【選考方針】

北京冬季オリンピックにおける日本の出場枠拡大を目指し、日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女各 6 名 (合計 12 名)

【枠数】

男子：500m (3)、1000m (3)、1500m (3)、5000m リレー (1)

女子：500m (3)、1000m (3)、1500m (3)、3000m リレー (1)

男女混合：男女混合 2000m リレー (1)

【選考基準】

対象競技会：

- ・ 第 31 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会 (長野県南佐久郡南牧村、2020 年 10 月 3～4 日 ※本競技会はすでに実施済み)
- ・ 第 32 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会 (長野県南佐久郡南牧村、2021

年 9 月 25～26 日)

男女各 6 名の正選手及び各 3 名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 1 名の派遣選手を、第 32 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会において、好成績であった距離の順位が上位の者を選考する。これが同順位の場合は、次に好成績であった距離の順位が上位の者を優先し、それ以後も同順位となる場合は、同様の手順を経て優先順位を決定する。最終、3 距離とも同順位となる場合は、第 32 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会 500m におけるベストタイムが上位の者を優先する。

※例えば、第 32 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会における各レースの順位が次のとおりであった場合、B 選手が選考される。

| | 500m | 1000m | 1500m |
|------|------|-------|-------|
| A 選手 | 1 位 | 2 位 | 4 位 |
| B 選手 | 7 位 | 1 位 | 1 位 |
| C 選手 | 2 位 | 3 位 | 2 位 |

- (2) 特記事項に従って、第 32 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会におけるランキング C (2021 ランキング) を算出する。次に、2020/2021 世界ショートトラック選手権大会の代表選手男女各 5 名について、第 31 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会におけるランキング C (2020 ランキング) を算出する。その後、ランキング C (2020 ランキング) のポイントの 3 分の 1 を、ランキング C (2021 ランキング) のポイントに加算する。このように算出した加算後ランキング C の上位者 4 名 ((1) で選考された者を除く) を選考する。ただし、合算ポイントが同点の場合は、第 32 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会 500m におけるベストタイムが上位の者を優先する。
- (3) 当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、(1) 及び (2) において選考された者を除いた、第 32 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会にエントリーしている選手の中から、リレー種目の構成を考慮し、選考方針を踏まえた総合的な検討によって、男女各 1 名を選考する。
- (4) 当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、(1) ～ (3) までに選考された者を除いた、第 32 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会におけるランキング A の上位 5 名を対象とし、選考方針を踏まえた総合的な検討によって、男女各 3 名を補欠として選考する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- 過密した国際競技会スケジュールのため、上記 (1) ～ (3) の基準に従って選考された選手が第 30 回ユニバーシアード冬季競技大会への出場を希望する場合は、当該選手はワールドカップ第 1 戦～第 4 戦における正選手としての権利を放棄するものとし、次点者を繰り上げて選考する。なお、ここで権利を放棄した当該選手は、上記 (4) の基準における補欠選考のための対象者に加えることとする (第 30 回ユニバーシアード冬季競技大会への出場を希望する者が、ワールドカップ第 1 戦～第 4 戦における補欠となることは妨げない)。

2. 第 30 回ユニバーシアード冬季競技大会 (2021/ルツェルン)

【開催場所、期間】

スイス（ルツェルン）、2021年12月11～21日 ※開催中止

【選考方針】

第30回ユニバーシアード冬季競技大会で日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女各5名（合計10名）

【選考基準】

対象選手は、現役大学生又は2020年1月1日以降に大学を卒業した者で、1996年1月1日から2003年12月31日の間に生まれた者とする。

対象競技会：

- ・ 第31回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会（長野県南佐久郡南牧村、2020年10月3～4日 ※本競技会はすでに実施済み
- ・ 第32回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会（長野県南佐久郡南牧村、2021年9月25～26日
- ・ ユニバーシアード代表選考競技会（山梨県甲府市、2021年10月9～10日）

男女各5名の正選手及び各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) ワールドカップ第1戦～第4戦において日本代表の補欠となった選手を選考する。なお、当該選手には、ユニバーシアード代表選考競技会への参加を免除する。
- (2) ユニバーシアード代表選考競技会における500m、1000m、1500mの3距離で、各距離の優勝者を選考する。ただし、(1)による選考後の残りの選考人数が2名以下の場合、優勝距離の多い者を優先する。1距離優勝者相互では、優勝した距離以外の2距離のうち、より好成績の距離の順位が上位の者を優先する。これが同順位の場合は、もう1距離の順位が上位の者を優先する。
- (3) (1)及び(2)の選考後の残りの選考人数は、ユニバーシアード代表選考競技会におけるランキングCの上位者から選考する。ただし、合算ポイントが同点の場合はユニバーシアード代表選考競技会500mにおけるベストタイムが上位の者を選考する。
- (4) (1)～(3)までに選考された者を除いたユニバーシアード代表選考競技会におけるランキングAの上位3名を、男女それぞれの補欠として選考する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 上記(1)の基準に従って選考された選手がユニバーシアード代表選考競技会に出場した場合は、当該選手は第30回ユニバーシアード冬季競技大会日本代表としての権利を放棄したものとし、これによって空いた枠については、上記選考基準の手順に従った優先順で、選考する。なお、第30回ユニバーシアード冬季競技大会日本代表としての権利を放棄した当該選手が、上記選考基準を再び満たしたとしても、日本代表には選考しない。

3. 四大陸ショートトラック選手権大会

【開催場所、期間】

アメリカ（ソルトレークシティ）、2022年1月14～16日 ※開催中止

【選考方針】

四大陸ショートトラック選手権大会で日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女最大各4名（合計最大8名）

【枠数】

男子：500m（3）、1000m（3）、1500m（3）

女子：500m（3）、1000m（3）、1500m（3）

※リレー種目の枠は、ワールドカップでの最終ランキングにより決定される。

【選考基準】

対象競技会：

- ・ 第30回ユニバーシアード冬季競技大会（スイス・ルツェルン、2021年12月11～21日）
- ・ 第44回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会（大阪府大阪市、2021年12月18～19日）

男女各4名の正選手及び各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 第30回ユニバーシアード冬季競技大会における500m、1000m、1500mのいずれかの距離で、1～3位のいずれかの成績を残した者がいた場合、男女それぞれ最大2名の範囲内でこれを選考する。上記成績の者が2名を超える場合は、好成績であった距離の順位が上位の者を選考し、これが同順位の場合は、次に好成績であった距離の順位が上位の者を優先する。それ以後も同順位となる場合は、同様の手順を経て優先順位を決定する。最終、3距離とも同順位となる場合は、第30回ユニバーシアード冬季競技大会500mにおけるベストタイムが上位の者を優先する。

※例えば、第30回ユニバーシアード冬季競技大会における各レースの順位が次のとおりであった場合、A選手及びD選手が選考される。

| | 500m | 1000m | 1500m |
|-----|------|-------|-------|
| A選手 | 1位 | 2位 | 5位 |
| B選手 | - | 8位 | 8位 |
| C選手 | 3位 | - | 10位 |
| D選手 | 5位 | 3位 | - |

- (2) 残りの選手は、当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、以下のいずれかの条件を満たした選手の中から、選考方針を踏まえた総合的な検討によって、選考する。

- ① ワールドカップ第1戦～第4戦のいずれかにおいて日本代表となった者（補欠含む）。
- ② 第30回ユニバーシアード冬季競技大会において日本代表となった者（補欠含む）。
- ③ 特記事項に従って算出した、第44回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会におけるランキングCの、上記①及び②を除く上位8名となった者。

- (3) 男女それぞれ補欠3名を、上記(2)に従って選考する。

(4) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

【特記事項】

- ・ 北京冬季オリンピックにおける正選手又は補欠となった者は、四大陸選手権大会における正選手及び補欠には選考しない。

4. 世界ジュニアショートトラック選手権大会

【開催場所、期間】

ポーランド（**グダニスク**）、2022年3月4～6日

【選考方針】

世界ジュニアショートトラック選手権大会で日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女最大各4名（合計最大8名）

※ISUより、後日通知される内容による。

【枠数】

男子：500m（3）、1000m（2）、1500m（3）、3000mリレー（1）

女子：500m（2）、1000m（2）、1500m（2）、3000mリレー（1）

【選考基準】

対象選手は、2002年7月1日から2007年6月30日までに生まれた者（ISU一般規定108条2項）とする。

対象競技会：

- ・ 第31回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会（長野県南佐久郡南牧村、2020年10月3～4日 ※本競技会はすでに実施済み
- ・ 第32回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会（長野県南佐久郡南牧村、2021年9月25～26日
- ・ ワールドカップ第1戦～第4戦
- ・ 第44回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会（大阪府大阪市、2021年12月18～19日）
- ・ 第41回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会（広島県広島市、2022年1月8～9日）

男女各4名の正選手及び各4名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 北京冬季オリンピックの日本代表となった選手（補欠含む）を、男女それぞれ最大3名の範囲内で選考する。なお、当該選手は第41回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会への参加を免除する。
- (2) 第41回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会における500m、1000m、1500mで2距離以上優勝した者を選考する。
- (3) (1)及び(2)の選考において派遣人数に満たない場合は、第41回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会におけるそれぞれの距離別順位にショートトラック派

遣選考用順位ポイント表に従い、男女別出場者全員にポイントを与え、3 距離（500m、1000m、1500m）のいずれにおいても 3 位以内の成績を収めた者の中で、3 距離の合算ポイント最上位者から順に選考する。ただし、合算ポイントが同点の場合は 1000m のランキング上位の者を優先する。

- (4) (1) ～ (3) の選考において派遣人数に満たない場合は、3 距離（500m、1000m、1500m）の中から取得ポイントの高い 2 距離のポイントを合算し、(3) までで選考された者を除く合算ポイント最上位者から順に選考する。ただし、合算ポイントが同点の場合は、前述の 2 距離以外となる 3 種目目のランキング上位の者を優先する。これが同順位の場合は、1000m のランキング上位の者を優先する。
- (5) 各距離にエントリーされる選手は、派遣される男女各 4 名から次に掲げる成績等に鑑みて、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びジュニア強化責任者の協議により決定する。ただし、練習状況や体調・コンディショニングを総合的に考慮し、変更する場合もある。
 - ① 上記 (1) の基準によって選考された者。ただし、これらの対象選手数が個人戦各種目出場枠を超えた場合は、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びジュニア強化責任者の協議により優先順を決定する。
 - ② 第 41 回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会における、各種目上位者を優先する。
- (6) 男女それぞれ補欠 4 名を、以下の順に選考する。
 - ① 上記 (1) で選考された者を除く、北京冬季オリンピック日本代表となった選手（補欠含む）。
 - ② 上記 (2) ～ (4) に従った次点者。
- (7) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する

【特記事項】

- ・ 上記 (1) の基準に従って選考された選手が第 41 回全日本ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会に出場した場合は、当該選手は世界ジュニア選手権大会日本代表としての権利を放棄したものとし、これによって空いた枠については、上記選考基準の手順に従った優先順で、選考する。なお、世界ジュニア選手権大会日本代表としての権利を放棄した当該選手が、上記選考基準を再び満たしたとしても、日本代表には選考しない。

5. 世界ショートトラック選手権大会

【開催場所、期間】

カナダ（モントリオール）、2022 年 3 月 18～20 日

【選考方針】

世界ショートトラック選手権大会で日本代表選手団として十分な活躍が期待できる選手の中から選考する。

【派遣可能人数】

男女最大各 5 名（合計最大 10 名）

※ISU より、後日通知される内容による。

※リレー出場権はワールドカップでの最終ランキングにより決定される（この出場権を得た場合、男女それぞれ5名の派遣が可能となる）。

【枠数】

男子個人戦：3名

女子個人戦：2名

※リレー種目の枠は、ワールドカップでの最終ランキングにより決定される。

【選考基準】

対象競技会：

- ・ 第31回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会（長野県南佐久郡南牧村、2020年10月3～4日）
- ・ 第32回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会（長野県南佐久郡南牧村、2021年9月25～26日）
- ・ ワールドカップ第1戦～第4戦
- ・ 第44回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会（大阪府大阪市、2021年12月18～19日）

男女最大各5名の正選手及び各3名の補欠選手を以下の手順で選考する。

- (1) 男子又は女子リレーの出場枠が配分された場合、男女それぞれ5名の派遣選手は、北京冬季オリンピックにおいて日本代表となった選手（補欠を除く）を、選考する。枠を満たさなかった場合の残りの派遣選手は、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、北京冬季オリンピックにおける補欠を対象とし、リレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって選考する。
- (2) 男子又は女子リレーの出場枠が配分されなかった場合、男女それぞれ取得した枠内の派遣選手は、北京冬季オリンピックにおいて日本代表となった選手（補欠を除く）を対象とし、北京冬季オリンピックの選考基準の手順に従った優先順で選考する。枠を満たさなかった場合の残りの派遣選手は、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、北京冬季オリンピックにおける補欠を対象とし、選考方針を踏まえた総合的な検討によって選考する。
- (3) 男女それぞれ補欠3名を、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、第24回オリンピック冬季競技大会における補欠を対象とし、選考方針を踏まえた総合的な検討によって選考する。
- (4) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

第24回オリンピック冬季競技大会(2022/北京) 日本代表選手選考基準

オリンピック出場枠に関連するワールドカップにおける詳細は、国際スケート連盟(ISU)によって後日通知される予定である。これを受けて、本選考基準のうちISUから通知される内容に適合しない部分は変更される場合がある。

【決定の方法】

北京冬季オリンピックへの派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化部委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

【派遣選手団の編成方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 日本代表として十分な活躍が期待できるチーム種目(男子5000mリレー、女子3000mリレー及び男女混合2000mリレー)を優先的に選考する。
3. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

【出場に関する制限】

以下の通り制限される。

- ・ 国際スケート連盟(ISU)ルール284条によって決定される出場資格数
- ・ ISUによるオリンピック特別参加資格のクラス分け(SOQC)
- ・ ISUによる参加標準記録
- ・ 北京冬季オリンピックに関する最新ISUコミュニケーションの詳細
- ・ 日本オリンピック委員会(JOC)により日本スケート連盟に与えられる出場選手枠数
- ・ 新型コロナウイルス(COVID-19)に関連する国や関係団体からの制限

【選考用ランキング】

下記選考基準の各対象競技会における500m、1000m、1500mの結果に従い、下記のとおり3種類のランキングを作成し、選考に用いる。

ランキングA 500mの全ラウンドにおけるベストタイムの順位と1000mの距離別順位に、それぞれ本選考基準に添付するショートトラック派遣選考用順位ポイント表に従い、男女別出場者全員にポイントを与え、その500mと1000mの合算ポイントをもって順位を付する。

ランキングB 500mと1500mで距離別順位の良い方にショートトラック派遣選考用順位ポイント表に従いポイントを与え、そのポイントで順位を付する。

ランキングC ランキングAとBの合算ポイントをもって順位を付する。

【特記事項】

- ・ ISUの参加要項等に変更があった場合は、それに準じて選考方法等を再検討し変更する場合がある。
- ・ 個人及びチーム種目へのエントリーは、当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチが、北京冬季オリンピックでの活躍を前提とした総合的

な検討を加えながら、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考する。

- ・ 対象競技会における個人種目の順位を用いて選考における優先順位を決める際、本選考基準に従って最終的に優先順位が決しない場合は、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、選考方針を踏まえた総合的な検討によって優先順位を決定する。
- ・ 本選考基準において、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議による選考を定めている場合において意見の一致に至らなかった場合は、多数決の方法をもって決する。また、ここでの選考は、強化部委員会の出席者（選考の対象とされる選手と同所属や担当コーチなどといった関係者を除く）の 3 分の 2 以上の多数をもって変更することができる。
- ・ ワールドカップ第 4 戦終了後に、下記選考基準に従って選考された選手が第 44 回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会に出場した場合は、当該選手は北京冬季オリンピック日本代表としての権利を放棄したものとし、これによって空いた枠については、下記選考基準の手順に従った優先順で、選考する。なお、北京冬季オリンピック日本代表としての権利を放棄した当該選手が、下記選考基準を再び満たしたとしても、日本代表には選考しない。
- ・ 下記選考基準に従って選考された選手（補欠含む）が、四大陸選手権大会への出場を希望する場合は、当該選手は北京冬季オリンピック日本代表（補欠含む）としての権利を放棄するものとし、次点者を繰り上げて選考する。
- ・ 代表選手の決定後、ケガや病気などによって大会への参加が困難だと判断された場合は、選考委員会又は理事会で補欠登録をされた選手と入れ替える場合がある。その場合、強化スタッフに登録されたスポーツドクターの診断・見解を参考に検討する。
- ・ 選考対象者が、新型コロナウイルス（COVID-19）による影響（感染や偽陽性判定、濃厚接触者認定、熱発による感染疑い、国際的な移動に伴う規制等による隔離や行動制限）により、本選考基準による適正な選考が著しく妨げられたと認められた場合は、強化部委員会の協議によって、下記選考基準の関連する部分に変更される場合がある。

【派遣可能人数】

SOQC による日本に配分された種目別出場枠により、以下の通り設定される。

- ・ 男子又は女子リレーの出場枠が配分された場合～男女各最大 5 名
※ただし、これらのリレーの出場枠配分のみでは男女各最大 4 名に限定される。5 人目の枠を獲得するためには、SOQC において獲得した個人種目（500m、1000m、1500m）における枠の総数（各 3 枠で合計 9 枠）が 8 枠以上となる必要がある。
- ・ 男子又は女子リレーの出場枠が配分されなかった場合～男女各最大 3 名

【枠数】

SOQC により、以下の国別最大枠数が割り振られる。

男子：500m (3)、1000m (3)、1500m (3)、5000m リレー (1)

女子：500m (3)、1000m (3)、1500m (3)、3000m リレー (1)

男女混合：男女混合 2000m リレー (1)

【選考基準】

対象競技会：

- ・ 第31回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2020年10月3～4日) ※本競技会はすでに実施済み
- ・ 第32回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会(長野県南佐久郡南牧村、2021年9月25～26日)
- ・ ワールドカップ第1戦～第4戦
- ・ 第44回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会(大阪府大阪市、2021年12月18～19日)

(1) 男子又は女子リレーの出場枠が配分された場合、男女それぞれ4名の派遣選手のうち、男女それぞれ3名の派遣選手は、当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、ワールドカップ第1戦～第4戦のいずれかの男子5000mリレー、女子3000mリレー、男女混合2000mリレーのいずれかに出場した選手を対象とし、リレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって選考する。残りの男女それぞれ1名の派遣選手は、当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、以下の通り選考する。

① ワールドカップ第1戦～第4戦のいずれかにおいて日本代表となった者(補欠を除く)の中から、選考方針を満たすに十分な実力を有すると判断された場合、リレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって選考する。

② 上記①によって選考に至らなかった場合、以下の選手を対象として、リレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって選考する。

i ワールドカップ第1戦～第4戦のいずれかにおいて日本代表となった選手(補欠を除く)。

ii 特記事項に従って、第32回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会におけるランキングC(全日本距離別選手権)、第44回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会におけるランキングC(全日本選手権)をそれぞれ作成する。その後、ランキングC(全日本距離別選手権)及びランキングC(全日本選手権)それぞれのポイントの2分の1を合算し、ランキングC(2大会合計)を作成する。このように算出したランキングC(2大会合計)の上位5名を対象とする。ただし、ランキングC(2大会合計)のポイントが同点の場合は、第32回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会及び第44回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会を対象とした500mにおけるベストタイムが上位の者を優先する。

(2) 男女それぞれ5人目の枠を獲得した場合、この1名の派遣選手は、上記(1)②iiで作成したランキングC(全日本選手権)において、(1)で選考された者以外の中で最上位の者を選考する。

(3) 男子又は女子リレーの出場枠が配分されなかった場合、男女混合2000mリレーの出場枠の有無により、以下の通り選考する。

① 男女混合2000mリレーの出場枠が配分された場合、男女それぞれ最大3名の派遣選手のうち、男女それぞれ2名の派遣選手は、当該年度のJOCナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、ワールドカップ第1戦～第4戦のいず

れかの男女混合 2000m リレーに出場した選手を対象とし、リレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって選考する。最大枠である 3 枠を獲得した場合の残りの男女それぞれ 1 名の派遣選手は、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議により、以下の通り選考する。

- i ワールドカップ第 1 戦～第 4 戦のいずれかにおいて日本代表となった選手（補欠を除く）の中から、選考方針を満たすに十分な実力を有すると判断された場合、リレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって選考する。
 - ii 上記 i によって選考に至らなかった場合、ワールドカップ第 1 戦～第 4 戦のいずれかにおいて日本代表となった選手（補欠を除く）及び上記 (1) ②ii において決定された男女それぞれ 5 名の対象者の中から、リレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって選考する。
- ② 男女混合 2000m リレーの出場枠が配分されなかった場合は、以下の手順で選考する。
- i 特記事項に従って、第 32 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会におけるランキング C（2021 全日本距離別選手権）を作成する。次に、2020/2021 世界ショートトラック選手権大会の代表選手男女各 5 名について、第 31 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会におけるランキング C（2020 全日本距離別選手権）のポイントを求め、その 3 分の 1 を、前述のランキング C（2021 全日本距離別選手権）のポイントに加算し、ランキング C（全日本距離別選手権 2 年分合計）を作成する。
 - ii 特記事項に従って、第 44 回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会におけるランキング C（全日本選手権）を作成する。
 - iii 上記 i で算出したランキング C（全日本距離別選手権 2 年分合計）のポイントの 3 分の 2 と、上記 ii で算出したランキング C（全日本選手権）のポイントの 3 分の 1 とを合算してランキング C（個人種目選考用）を作成する。このように算出したランキング C（個人種目選考用）の上位者から枠数（男女各最大 3 名）に至るまで選考する。ただし、ランキング C（個人種目選考用）のポイントが同点の場合は、第 32 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会及び第 44 回全日本ショートトラックスピードスケート選手権大会を対象とした 500m におけるベストタイムが上位の者を優先する。
- (4) 補欠は、男子又は女子リレーの出場枠の有無により、以下の通り選考する。
- ① 男子又は女子リレーの出場枠が配分された場合、正選手との合計が男女各 8 名に達するように補欠を選考する。この 4 名又は 3 名の補欠は、上記 (1) のランキング C（2 大会合計）における、上記 (1) 及び (2) で選考された者を除いた上位 6 名を対象とし、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議によるリレー種目の構成を考慮した総合的な検討によって、選考する。
 - ② 男子又は女子リレーの出場枠が配分されなかった場合、男女各 3 名の補欠を選考する。男女各 3 名の補欠は、上記 (3) ②iii におけるランキング C（個人種目選考用）の上位 5 名を対象とし、当該年度の JOC ナショナルコーチ、ショートトラック強化部長及びナショナルチームヘッドコーチの協議による選考方針を踏まえた総合的な検討によって、選考する。
- (5) 上記の選考基準で判断できない場合は、強化部委員会の協議によって選考する。

(公財)日本スケート連盟主催競技会

ショートトラック派遣選考用順位ポイント表

| 順位 | ポイント | 順位 | ポイント | 順位 | ポイント |
|----|------|----|------|--------|------|
| 1 | 1000 | 16 | 35 | 31 | 14 |
| 2 | 800 | 17 | 28 | 32 | 13 |
| 3 | 640 | 18 | 27 | 33 | 12 |
| 4 | 512 | 19 | 26 | 34 | 11 |
| 5 | 410 | 20 | 25 | 35 | 10 |
| 6 | 328 | 21 | 24 | 36 | 9 |
| 7 | 262 | 22 | 23 | 37 | 8 |
| 8 | 210 | 23 | 22 | 38 | 7 |
| 9 | 168 | 24 | 21 | 39 | 6 |
| 10 | 134 | 25 | 20 | 40 | 5 |
| 11 | 107 | 26 | 19 | 41 | 4 |
| 12 | 86 | 27 | 18 | 42 | 3 |
| 13 | 69 | 28 | 17 | 43 | 2 |
| 14 | 55 | 29 | 16 | 44 | 1 |
| 15 | 44 | 30 | 15 | others | 1 |

- ※ ベストタイムが同タイム（1000分の1秒）の場合、エリミネーションレース同様のポイントを与える。（例：3位同着の場合、2名が3位のポイント獲得。次に続く選手は5位のポイント獲得）
- ※ 最初のラウンドでペナルティーを科された場合は出場人数+1の順位ポイントを与える。
- ※ イエローカードを受けた場合は当該距離のポイントが付与されない。